

# 世論に押され 自民党 茂木幹事長が 小中学校給食費の無償化を公言

## 早期実現に責任もつて

3月20日、日テレ系などで、自民党の茂木幹事長が「少子化対策」について小学校・中学校の給食費を無償化すべきとの考えを示しましたと、報道がされました。

茂木幹事長「家庭の事情、こういったものに関係なく支援をしていくと。こういう観点から、小中学校の給食費の無償化、これもぜひ実現したい」「小中学校の給食費無償化」について「今週中にも論点整理をして政府の少子化対策に関するたたき台に反映させたい」との考えを示しました。

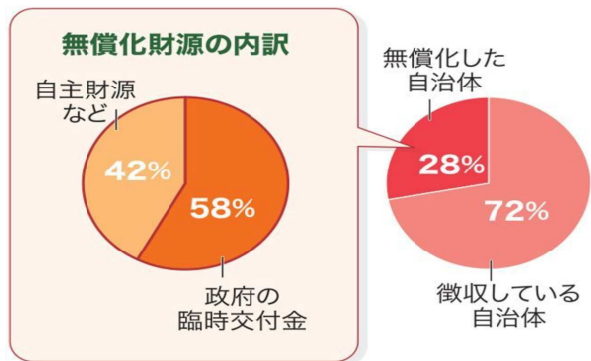
財源については「中長期に考えることなど優先順位をつけることが重要だ」と指摘し「新しい発想のもとで考えていきたい」と述べました。一斉選挙目前のパフォーマンスにせず、早期実現を進めていただきたいと思います。

## 日本共産党各地で実現要求

「朝ごはんもまともに食べられない。給食だけが唯一の栄養源となっている子どもたちが増えている」など切実な実態が寄せられています。



茂木幹事長の給食費無償化発言を報道するテレビ各社 3/20



### 碧南市の給食費

学校給食費  
小学生=240円×20日=4,800円/月  
中学生=270円×20日=5,400円/月  
格差貧困が子どもたちに影響  
就学援助で無料の人数  
小学生325人 中学生219人合計544人  
滞納額 (2021年決算)  
5,891,474円 1,606件

碧南市長は、12月議会でも3月議会でも「経費がかかる」と給食費や18歳までの医療費完全無償化を拒否しました。

こういう市民のくらしを顧みない市政を続けた結果、西三河10自治体で最悪の出生率に

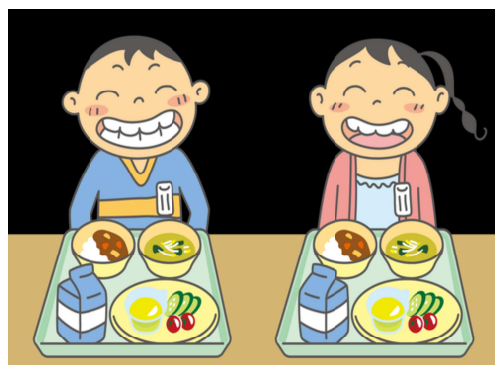
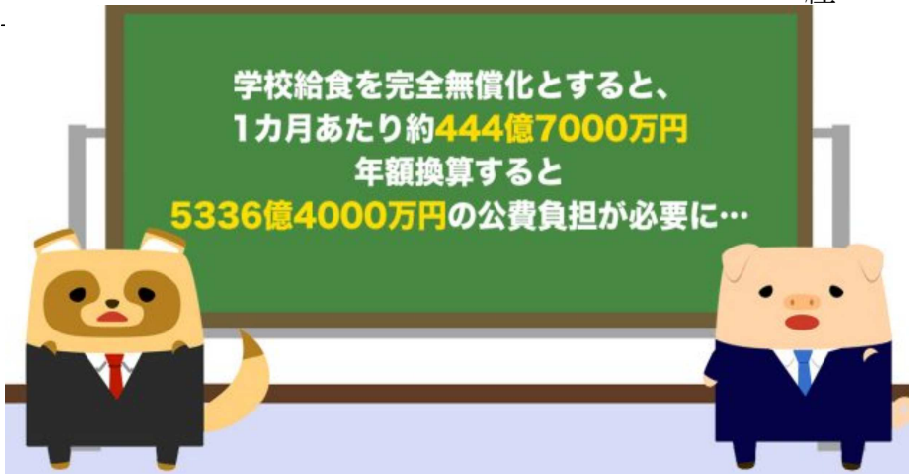
## 拒否する碧南市恥ずかしくないか

学校給食は教育の一環であり、憲法26条(義務教育無償)の実現へ、教科書と同じように無償にするのは政治の責任です。政府はすでに1951年に「義務教育無償をできるだけ早く広範囲に実現するために学用品、学校給食費などの無償化を考えている」と答弁していましたがいまだに実現していません。

子どもの成長発達において、かけがえのない大切な学校給食ですが、学校給食法は「学校における食育の推進を図ることを目的とする」と規定しています。

## 政府70年前に無償化約束

小学校で年間約5万円、中学校で6万円の給食費は決して安くありません。給食無償化は貧困家庭だけでなく全ての子育て世帯の応援になります。日本共産党は碧南市でも全国でも、給食費無償化を求めて運動や議会質問を行ってきました。



なっています。自民党幹事長でも、実施を言わざるを得ない状況です。豊かな財政の碧南市こそ、いの一歩に学校給食費も18歳までの医療費完全無料化をやっていたいただきたいです。

**軍事費倍加 5年間/43兆円=86年間給食費無料にできる**  
**軍事費減らして給食費無償化を**



# 大軍拡・大增税許すな 総がかり実行委員など「19日行動」

## 千人が「戦争許すな」と

大軍拡・大增税をはじめ、戦争する国づくりへと突き進む岸田政権に抗議する行動が19日、衆院第2議員会館前で行われました。総がかり行動実行委員会と9条改憲NO！全国市民アクションが呼びかけた「19日行動」です。1000人（主催者発表）が参加し、「軍事費増やすな！」と声をあげました。

## メディアはなぜ取り上げぬ

主催者を代表して、菱山南帆子さん（憲法9条を壊すな！実行委員会）があいさつ。憲法違反の敵基地攻撃能力の保有をはじめ、岸田政権が大軍拡を狙っているがメディアはこの問題を大きく取り上げていないと指摘。「大軍拡・大增税に反対する署名を手に、私たちが街頭に出て市民に知らせよう」と呼びかけました。

## 外国人差別の入管法許さん

さまざまな立場の市民3氏が発言。移住者と連



(写真) 各界からの訴えを聞く人たち  
＝19日、衆院第2議員会館前  
(写真下) 碧南ピアゴ前の19行動 3/19



## 大軍拡・大增税許すな へきなん 19行動

4月19日（水曜日）

午前11時～12時 ピアゴ碧南東店

## 日本共産党碧南市委員会



市議会議員 市議会議員 市民運動部長  
山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦  
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718  
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

## 碧南市でもピアゴ前で 「平和の大攻勢」と

碧南市でもピアゴ前で19行動「だまっていたら

大変なことに、今こそ平和の大攻勢を」と次々

## 吉良よし子参院議員

## 「国会論議で問題点明らか」

日本共産党の吉良よし子参院議員、社民党の服部良一幹事長が駆けつけてあいさつし、立憲民主党と「沖繩の風」のメッセージが紹介されました。共産党の吉良氏は、岸田政権による「戦争ができる国づくり」の問題点が次々と国会審議で明らかになっていくと強調。「統一地方選挙でも、大軍拡に反対し、平和を願う意思を示していきたい」と語りました。

帯する全国ネットワーク（移住連）事務局長の山岸素子さんは、政府が国会に提出した入管法改定案についてスピーチ。「事情があつて母国に帰れない外国人に刑事罰を設けて帰国を強制するなど、とんでもない中身です。廃案にするため、多くの市民と行動していきたい」と述べました。

訴えました。年金者組合、新婦人など市民団体とともに日本共産党山口はるみ議員、磯貝明彦市民運動部長も訴えました。

市外の人たちも「物価が値あがって本当に大変。こんな時に、軍事費2倍なんて自民党や公明党は庶民の暮らしをわかっているのか」と署名をしてくださいました。



しんぶん赤旗の自動販売所 日本共産党のホームページに掲載中 碧南市内では山口はるみ議員宅